

令和元年度

盛岡公務員法律専門学校

自己点検・評価委員会結果報告書

令和2年3月

令和元年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡公務員法律専門学校の自己点検・評価結果を公表いたします。

令和2年3月

学校法人龍澤学館
理事長 龍澤 正美

1. 学校の教育目標

本校は、地域社会の発展に貢献するため、進展を続ける社会情勢に即応できる人材・社会で活躍できる人材の育成を行うことを目的としている。そのため、単に公務員試験や就職試験における筆記試験突破のための知識を詰め込むのではなく、多くの経験を積むことで豊かな人間性を育み、自ら「気づき」「考え」「行動する」力を養う教育に努めている。

2. 令和元年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

・社会の変化に適応及び対応できる「人間力」や「対応力」等を身に付けさせるため、学生たちに不足している「経験値」を増やし、社会環境の変化に「気づき、考えて、行動できる力」を高めていくよう、インターンシップや実践的な授業を取り入れた指導のさらなる充実を図る。

・近年、全体的な基礎学力の低下と学力差の広がりが顕著なため、「一人ひとりに対しわかるまで教える」きめ細かな指導を強化していく。

・高校生向けの公務員試験対策講座や地域別出張公務員対策講座、進路相談・ガイダンス等で本校が持つ情報や指導力を地域に還元していく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

※適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校におけるキャリア教育・職業教育の特色を教職員が共有しているか	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
評価理由と改善策	本校は、専門教育を通して地域・社会の発展に寄与する人材を育成することを目的に、実社会で要望され、活躍できる能力、技術、知識の養成とともに、公務員あるいは公共性の高い仕事に携わる人間としての自覚を持ち、明るく健康で建設的な考え方をもちた人間性豊かな社会人の育成を目指している。 少子化や若者の首都圏流出が激しい現代において、優秀な人材を地元で育成し、地元地域の未来を担う人材として地元に残って活躍してもらうことも、我々の大切な役割である。 このことは、学校案内や募集要項に掲載して広く周知するとともに、学生に対しても、日々の生活の中でも繰り返し伝え、心の教育を行うよう努めている。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

評価理由と改善策	年度ごとに、施設環境・教育内容・学生募集・教員研修・地域社会との関連・その他の項目について事業計画を策定し、法人本部と学校が連携しながら運営している。
----------	---

(3) 教育活動

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
評価理由と改善策	教育課程編成委員会にて、企業・団体様のご協力の下、社会状況の変化やニーズを踏まえ、カリキュラムの作成・見直し等に取り組んでいる。また、インターンシップ実施後は、校内での振り返り作業と受入先からの実施後アンケートを活用し、社会人になる上で必要な自主性の指導をしている。項目7については、非常勤講師及び学生からのフィードバックを活かし、授業を実施する形となった。次年度はアンケートの実施について、期間に余裕を持たせ、実施したいと思う。項目12については、継続して教員の確保を行っており、現状でも対応できているが、さらに十分な体制を整えられるよう努めていきたい。	

(4) 学修成果

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

評価理由と改善策	就職率は毎年高水準で推移しているが、全員内定を目指すのはもちろん、第一希望先への内定率向上を図っていく。そのためにも、個々の在校生と密に向き合うことによりきめ細やかな対応を心がけ、卒業生の活躍の状況を把握することで在校生への指導に活かしていきたい。
----------	--

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
評価理由と改善策	学習や進路についての相談に限らず、日常生活その他の相談にも気軽に応じられる体制を整えている他、指定寮への入寮補助金の支給や学費減免試験の実施等、経済的な支援体制も充実させている。地域イベントへの参加やボランティア活動を積極的に行うことで学生の社会性の向上につながっており、大変有意義な取り組みであると実感している。	

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4
評価理由と改善策	各フロアに自習室を設け、授業時間以外にも自由に使えるよう開放している。また、教務室内にある図書は学生にも貸し出しを行っており、学業面の向上を計っている。防災に対する体制の整備については、その年の学生数に合わせより良い避難場所を確保している。	

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4

評価理由と改善策	近年は、安定して定員数を確保しており、合格実績・内定実績をはじめ、就職先での卒業生の活躍状況・評価の高さ等、本校の教育成果をご理解いただけるよう努めている。
----------	--

(8) 財務

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
評価理由と改善策	法人本部で適正に管理・実行しており、財務情報については既にホームページで情報公開している。	

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
評価理由と改善策	法令、設置基準等の遵守と適正な運営を行い、自己評価の結果をもとに学校関係者評価委員会を開催し、その結果と合わせてホームページにて公開している。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4
評価理由と改善策	地域イベントやボランティア活動への参加など、地域活性化の取り組みに、学校を挙げて積極的に取り組んでいる。このことが地域貢献・活性化につながることはもちろん、学生にとっても大きな経験となっている。また、北東北3県の各地域にて、高校生向けの公務員試験対策講座を実施している。	

4. 総合的な自己評価結果と今後の目標

令和元年度重点目標については、一定の成果をあげることができた。学力向上に向けた指導はもとより、学力向上のみに偏らない指導の成果が学修成果として現れているといえる。その上で、本校が優秀な人材を輩出し続け、社会のニーズに応えていくためにも、今後はさらに以下のことに力を入れて取り組んでいきたいと考える。

学校は、もとより閉鎖的な環境になりがちであるが、学校から地域への情報発信や、地域や企業・

自治体等の外部組織から学校に対する意見・要望等をいただくことで、地域に開かれた存在として、未来の公務員・地域の担い手を地域の皆様と共に育てていける環境づくりに努めていきたい。そのためにも、学生の声や保護者的心声はもちろん、地域住民や企業・自治体等の声を今まで以上に積極的に取り入れる仕組みを整備していきたい。また、卒業生の活躍の状況についても詳しく把握することで、在校生に対する指導法や指導内容の充実にも活かしていきたい。

令和元年度

盛岡公務員法律専門学校

学校関係者評価委員会結果報告書

令和2年3月

学校法人龍澤学館

理事長 龍澤 正美

令和元年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 盛岡公務員法律専門学校では、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を実施いたしました。以下に、その内容についてご報告いたします。

今後は、各評価委員からの意見や指導等を真摯に受け止め、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力してまいります。

引き続き、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 学校関係者評価委員

氏名	企業・団体名	部署・役職
高柳 康弘	一般社団法人岩手県経営者協会	事務局長
村上 浩紀	株式会社 北日本銀行	人事部長
金野 淳一	三陸鉄道株式会社	取締役運行本部長
金澤 翔太	卒業生	
吉田 拓矢	卒業生	
吉田 友哉	盛岡公務員法律専門学校	統括主任
下山 裕	盛岡公務員法律専門学校	教務主任

2. 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 委員紹介
- (4) 学校関係者評価に係る説明
- (5) 令和元年度自己点検・評価結果報告ならびに議論
- (6) 閉会

3. 議論内容

本校の教育理念・目標と令和元年度に定めた重点目標と計画について説明を行った後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成した評価項目による自己点検・評価の結果に基づき、評価項目ごとに達成状況や取り組み状況、改善策等について、順次、外部委員の皆様と議論を行った。

① 教育理念・目標

「学校の理念・目的・人材育成像は定められているか」については、学校の理念・人材育成像を全教職員で共有している。そして、地元社会・地域社会に寄与できる人材の育成や、即戦力として期待される人材の育成に取り組んでいる。

「学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか」については、学校案内や募集要項に掲載して広く周知しているほか、入学ガイダンスにて学生ならびに保護者に向けて詳しく説明している。また、学生に対しては、日々の生活の中でも繰り返し伝えることで意識を啓発し、心の教育を努めている。これらの項目について、外部委員からは、これまでの実績を理解・評価していただき、今後も一生懸命に学生指導に取り組むこととお約束した。

② 学校運営

「運営方針に沿った事業計画の策定」については、年度ごとに、施設環境・教育内容・学生募集・教員研修・地域連携等について事業計画を策定し、法人本部との連携を図りながら運営しており、今後も継続していくことで確認した。

「教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか」については、教務が学生指導、事務局が学生募集・広報の担当となっているが、全教職員ですべての業務を担当できるよう情報を共有し行っている。

「教育活動等に関する情報公開」については、現在もホームページ等で積極的に行っており、ウェブサイト・SNSを利用し情報公開をしている。

③ 教育活動

「教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか」等については、教育理念に沿った教育課程の編成と教職員間での理解を深めることを

確認し、また、継続的に社会状況の変化やニーズを踏まえることで、さらに精度を高めていくこととした。

「教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか」と「学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか」については、2年間で1700時間を超える授業時間を確保しており、それに見合ったカリキュラムを毎年度組み直している。

「関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか」については、インターンシップの受入先と学校側との協定書等の取り交わしを行っており、実施後は受入先からのアンケート結果などを踏まえた学校内で振り返りを行い、社会人になる上での自主性の指導の活用を活かしている。

「授業評価の実施」については、予定していた期間でのアンケートを実施できず、非常勤講師及び学生からのフィードバックを活用するにとどまった。次年度は実施期間に余裕を持たせ、実施することを確認した。

「関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか」については、業界との連携による講師確保について継続的に努力していくこととした。

④ 学修成果

「就職率の向上」について、担任教員を中心としたきめ細かな学生対応の結果と認識しており、外部委員から高い評価をいただいた。今後も社会のニーズに合わせた人材を輩出できるよう、引き続き努力することとした。

「卒業後のキャリア形成への効果の把握」については、卒業生の職場における活躍状況の把握にこれまで以上に努めていくことを確認した。

⑤ 学生支援

学生支援全般については、担任教員を中心に、学習や進路についての相談に限らず日常生活その他の相談にも気軽に応じられる体制を整えることで、個々の学生に向き合った指導をしていることについて、高い評価をいただいた。

また「課外活動に対する支援体制の整備」についても、年々ボランティアの依頼が多くなっており、様々なボランティアに参加する機会が増えていることから、学生の社会性の向上につながっていることを確認した。

⑥ 教育環境

教育環境全般については、各フロアに自習室を設けたり、授業時間以外の教室を開放したりすることで、学生の自学自習をサポートしている。

「防災に対する体制は整備されているか」については、毎年学生数に応じてより良い避難場所の確保を続けていくことを確認した。

⑦ 学生の受入れ募集

「学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか」については、合格実績・内定実績だけでなく、教育理念や実践の取り組みによる学生の成長も具体的に伝え、本校の教育成果をご理解いただけるよう努めており、共感をいただいている。

⑧ 財務

既に情報公開されていることや法人本部との連携について確認した。

⑨ 法令遵守

「自己点検の実施と問題点の改善を行っているか」について、昨年度の自己点検項目については、現在、問題点の改善に努めている。今年度、新たな点検項目で挙げた問題点については、随時取り組んでいく。

⑩ 社会貢献・地域貢献

「学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている」について、我々ができる社会貢献として、地域のイベントへ参加することやボランティアスタッフとしてお手伝いすることで、地域を若い力で盛り上げられるよう、今後も教職員・学生が一体となって取り組んでいくことを確認した。

4. まとめ

社会状況が大きく変化している中において、外部委員の方々からは、本校の取り組みについて高く評価いただいた。今回の結果は、全教職員にフィードバックし、学修成果等のさらなる向上に向けて努めていきたい。

今後とも、盛岡公務員法律専門学校が地域から必要とされる学校となるため、地域貢

献活動に積極的に取り組み、また優秀な人材を輩出し続けられるよう教育活動に邁進していきたい。